

Ⅱ 知的障害者の雇用状況

常用雇用知的障害者 6 万 9 千人について以下に、その雇用状況について見ていくこととする。

(1) 性別・障害程度別

常用雇用知的障害者 6 万 9 千人のうち男子は 3 万 8 千人、女子は 3 万 1 千人となった。障害の程度別にみると重度知的障害者 28.5%で、重度以外の知的障害者は 63.0%となっている。

表 2-1 性別、障害の程度別常用雇用知的障害者の雇用状況

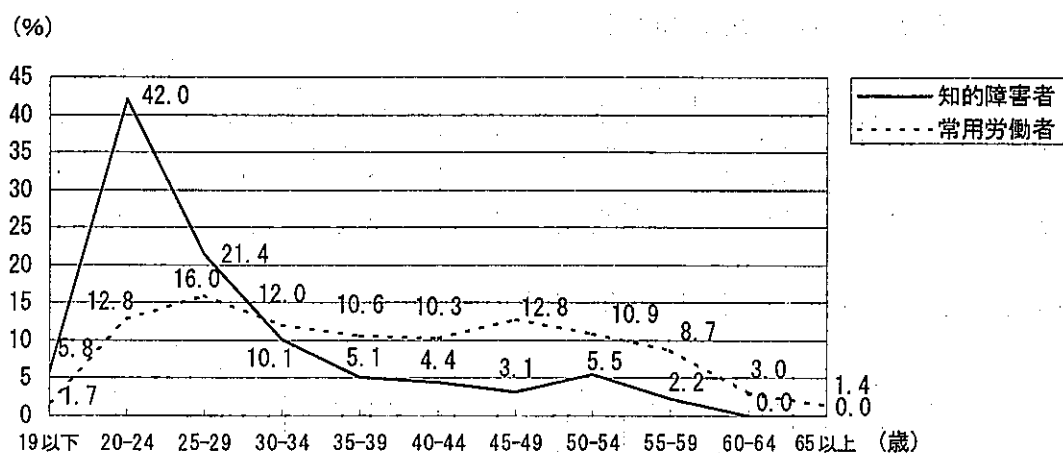
(単位：%)

	全 体	重 度	重度以外	不 明
男女計	69 千人 100.0%	28.5	63.0	8.3
男 子	38 千人 100.0%	32.3	58.1	9.6
女 子	31 千人 100.0%	23.4	69.3	7.3

(2) 年齢別

常用雇用知的障害者を年齢階級別に構成比で見ると、29歳未満の者が約7割と高い割合を占めている。これは、中高年層の占める割合が高い身体障害者の場合と対照的となっている。特に、女子では20～24歳以下の年齢階級が女子全体の55.8%を占めている。

図 2-1 常用雇用知的障害者の年齢構成（男女計）



(3) 産業別

常用雇用知的障害者を産業別構成比で見ると、製造業に雇用されている者が 59.2%と最も多く、ついでサービス業の 27.7%と多くなっている。

障害の程度別にみると、重度障害者では製造業、サービス業の割合が高く非重度障害者の